

(別紙)

第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・b・c
<コメント> 当該法人では1972年の設立当初に、「障害のある方々が、人間としての尊厳が守られ、豊かで安らぎのある生活を享受できるように支援していく」ことを基本理念とし明文化された。以降、社会福祉法人の制度改革やいわゆる障害児施設における「加齢児」問題等法人を取り巻く環境の変化により、保護者会など関係各位の意見をとりまとめ、「安心、快適な環境を大切にし、(親亡きに)利用者さんたちが自立した生活が送れるように、ていねいにしっかりと支援していく」という文言が追加された。 この理念は、毎月の職員会議、職員研修、新入職員研修、保護者会等の際に、毎回、繰り返し復唱し確認されている。また、理念に基づいた毎年度ごとの基本方針を「年間事業計画書」に取り込み作成している。		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・b・c
<コメント> 福祉医療機構が四半期ごと、6月・9月・12月・3月に実施している、社会福祉法人及び特別養護老人ホームの経営における現場の声・実感を把握した「社会福祉法人経営動向調査(WAM短観)」の情報を精査するとともに、全国社会福祉法人経営者協議会のモニター会員となりその結果である経営動向を注視し、年々厳しさを増す社会福祉法人の経営の変化や重要課題の把握に努めている。		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・b・c
<コメント> 税理士法人に月次監査を毎月依頼し、当法人の月次試算表確認等の会計全般を検分し、そのコンサルティングを基に現在の事業経営の財政状況を把握し、今後の経営方針を改善している。 理事長は栃木県障害施設・事業協会・栃木県社会福祉経営者協議会理事、栃木県障害福祉振興連盟会長を務め、社会福祉事業の変化や今後の動向を注視し、上記により得た情報を基に、法人の現在の経営状況について職員会議等において毎月情報を共有し、現場職員からの意見を		

毎月のアンケート調査などにおいて収集し、常に改善を心掛けている。

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>中長期なビジョンについては、厚生労働省・社会保障給付費の推移、人口動態の予測、後の日本のGDPや経済情勢に関する専門家の勉強会に参加等、多方面からのデータを収集し分析し、立案されている。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>年度初めの会議において、職員全員が今年度の支援目標と法人の事業所の課題を提出し、随時、毎月の職員会議、会議研修などで中長期計画の進捗具合の報告、現場職員のアンケート意見を取り入れ反映し改善を重ね、職員自らが単年度の「年間計画表」が作成されている。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>年度初めの会議において、職員全員に今年度の支援目標と法人の事業所の課題を提出させ、単年度に於いて、随時、毎月の職員会議、年度初めの会議研修などで中長期計画の進捗具合の報告、現場職員のアンケート意見を取り入れ反映させながら改善を重ね、単年度の「年間計画表」を職員自らが作成し周知し共有している。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>毎月の保護者会に於いて、中長期計画及び単年度計画のペーパーを配り、計画予定現場の見学と共に詳細に説明し、保護者と共に利用者が抱える課題の観点から、どんな利便性や快適な環境が今後必要かを聞き取りその改善点を取り入れ計画を随時修正されている。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>毎月実施している「支援に関するアンケート」を職員全員が提出し、寄せられた意見、問題点、課題、改善点について、職員会議、その後のケース会議にて個別の利用者についての支援</p>		

サービスの向上を話し合い、その「結果報告書」として残し全員で共有、職員によってサービスのばらつきがないよう、徹底されている。		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>本法人では、毎日記録する「主任日誌」、「宿直日誌」、「証拠となる写真を添付した問題行動対応シート」、同じく「写真を添付したヒヤリハット記録」をリーダーと職員が毎日点検し、即座に話し合い、その日中に問題点・課題を検討し、対応策・改善策を練り、ペーパーにて職員に周知し、支援の改善を日々行っている。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>法人の「行動指針」及び「運営規定」には、「法人の経営管理者は、リーダーシップを発揮し、「社会福祉法人行動指針」の実践に努め、また、趣旨に反する事態が発生した場合は、経営管理者自らが問題解決にあたる姿勢を明確にし、原因を究明するとともに説明責任を果たし、再発防止に努めます」と明記されている。</p> <p>また、法人の「コンプライアンス規程」第6条に施設長、管理者の役割の項目についてその責任が詳細に記載されている。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>管理者は栃木県障害福祉事業協会、栃木県社会福祉経営者協議会、栃木県障害福祉振興連盟、日本知的障害者福祉協会等の研修や勉強会に参加し、その資料等を基に情報を分析し、毎月の職員会議や年度初めの職員研修などで最新の福祉行政の動向などを報告、共有し、法人事業所のサービス向上や、常に遵守すべき法令等を正しく理解しきちんと励行すべく重要性について繰り返し説明している。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>当該法人では、「最善かつ最良なサービスを提供すること」を社会福祉法人の使命と考え、日々の取り組みや職員会議等で報告、共有されている。また、年1回職員から業務上の課題や不安等のヒアリングを行うことにより、各職員の状況やサービス提供での課題把握・分析を行</p>		

い。福祉サービスの質の向上を図るとともに、職員指導にもその指導力を発揮している。		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>経営改善や実務の実効性については、「良い組織は人材と適材適所」と考え、常に職員の動向や、面談での意見、悩みを聞き、「最悪に事態に備えて最善を尽くすため」人員の配置、人事異動、「強固な組織」を継続できるよう、1年1回の人事ではなく、半年に1回、必要な配置換え、環境整備を行っている。</p>		

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>中長期の方針に基づき、各事業所の利用者数に対して、サービスの充実、さらなる向上を図るため、いわゆる人員配置基準を上回る職員配置を確保するために、前年度より翌年度の「年間計画」を見据えて、新職員の採用をし、各職員のアンケートにより今後のスキル取得希望を募り、できる限り本人の意向に沿った適材適所の人事配置をしている。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>各職員のヒアリング及びアンケートにより、今後の配置や資格取得希望等を聞き、管理者が職員の適性を判断し、できる限り本人の意向に沿った適材適所の配置が考慮されている。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>職員の個別面談等を年2回実施し、施設長が職員の就業状況や支援等での不安や悩みを感じる際には、必要に応じて随時面談を行うとともに、職員が自らいつでも相談できるよう周知し、その職場づくりに取り組んでいる。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>給与規定に「職務と要件」を詳細に定め、昇格する際の目標を周知し、勤続年数に従って、研修の機会を確保し、事業協会や他団体の研修に参加を促し、各種資格を計画的に取得している。</p>		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・b・c
<p><コメント></p>		

<p>給与規定に「職務と要件」を詳細に定め、昇格する際の目標が定められ、勤続年数に従って、研修の機会を確保し、栃木県障害施設・事業協会や他団体の研修に参加を促し、各種資格を計画的に取得している。</p>		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>国家資格や業務上必要な大型自動車運転免許等取得に関する費用は法人として負担している。また、数名、保育士の資格を取るための通信教育費を負担、マイクロバス運転に必要な免許取得費、等々、各職員が「福祉のプロ」として通用するように法人として育成、5年10年後に向けた幹部職員の育成に努めている。</p>		
<p>II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。</p>		
20	II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>実習生の受け入れについては、マニュアルを整備し、専門担当職員を設け実習生及びボランティアの受け入れ調整を行っている。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
<p>II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。</p>		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>法人のホームページ及び全国社会福祉法人経営者協議会・会員法人情報公開ホームページにて毎年、「経営状況報告書」、「資金収支決算書」、「事業活動計算書」「貸借対照表」等の情報を公開している。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>税理士法人に月次監査を毎月依頼し、当法人の月次試算表確認等の会計全般を検分し、そのコンサルティングを基に現在の事業経営の財政状況を把握し、今後の経営方針を改善し、公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組を行っている。</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
<p>II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。</p>		
23	II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p>		

<p>J Aが運営する野菜直売所「ふれあいしょっぷ国分」に国分寺学園コーナーを常設し、施設の紹介とともに利用者が制作した季節ごと飾り物や牛乳パックを再利用し作成した「学園特製・あぶら取り君」など工夫を凝らした物品販売を通じて、地域住民に理解促進に努めている。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・b・c
<p><コメント> 「ボランティア規程」を整備し、保育士資格取得のため実習に来た大学生がその後もボランティアに参加、実習生として来られなかった方々にも希望がある場合はすべて受け入れている。</p>		
<p>II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。</p>		
25	II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・b・c
<p><コメント> 市の自立支援協議会、市長との交流機会を頻繁に設け、社会資源の把握及び各関係機関・団体等との連携を積極的かつ中心的に務め、その推進・強化を図っている。</p>		
<p>II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>		
26	II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a・b・c
<p><コメント> 市から近隣にある天平の丘公園の清掃事業を請け負い、毎週4日間、利用者さんたちが、市民の集いの場の整備に関わっている。</p>		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・b・c
<p><コメント> 栃木県障害施設・事業協会が実施する身元のわからない障害者・高齢者を支援するための「セーフティ・ネット拠点事業」の登録事業所として参加し、専門的な技術を活かした取り組みを積極的に行っている。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
<p>Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。</p>		
28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント> 「特定個人情報規程」が定め、また、毎月の職員会議の際に、セルフチェックシートを使い確認されている。利用者の支援内容の把握と本人理解の体制が構築されている。職員研修関係</p>		

では委員会を設置し、内部研修の企画・実施の他、外部研修参加職員による研修報告及び伝達研修により、共通理解を図っている。		
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>「特定個人情報取扱規程」を作成し、職員会議等で確認し周知徹底を図っている。チェックシートを用い、利用者への支援と理解を確認するように努めている。</p> <p>職員研修委員会が設置されており、利用者への利用者へのプライバシー配慮した内部・外部が実施されている。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>サービス利用希望者や見学希望者に対しては、ホームページやパンフレットを使用し丁寧に説明するととことを心掛けている。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>「契約書」や「重要事項説明書」を丁寧に説明し、本人に理解・納得の上、サインをいただいている。また、文章説明の理解が困難な方に対しては、見学や体験利用を通して理解を図っている。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>サービス変更時には、担当職員、責任者を交え、利用者の希望と意向の把握に努め、他事業所と連携し、サービスの継続性を配慮した対応を行っている。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>意見箱を玄関前に設置し、いつでも利用者の希望等を把握するように努めている。言語理解が難しい利用者については、写真等を活用し伝わるよう工夫している。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>苦情解決の仕組みが確立されており、利用者、保護者、近隣住民が苦情を申し出やすいように、アンケートや聞き取りを行えるよう整備されている。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a・b・c
<p><コメント></p>		

意見箱を玄関前に設置し、面会に来た保護者、利用者が記名・無記名でどちらでも意見や相談ができるよう工夫し、文章でも提示している。また、相談室だけでなく、自室や職員室でも対応が可能であり、意見や相談がしやすいよう工夫している。		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>利用者からの意見や希望に対しては、職員会議やケース会議で検討を行い、情報共有を図っている。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>ヒヤリハット・課題行動対応シート等による情報収集のリスクマネジメント体制が整備されており、月1回の職員会議によりその振り返りを行っている。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>コロナ・感染症対応マニュアルを作成しており、初期対応、後期対応、人員配置等が定められており、その体制が整備されている。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>災害時のマニュアル（BCP）を作成しており、月1回の避難訓練を実施しているとともに、食料・医薬品・日用品等の備蓄リストの作成と担当者による定期的な確認を通して、検証・見直しを行っている。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>個別支援計画を基に支援方法やその人に合ったサービス提供ができるよう明確にし、実施している。支援方法を周知すべくケース会議や必要な研修を行っている。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>定期的にあセスメントを実施し、その利用者にあった支援内容の見直しを行っている。見直し後は、ケース会議や個別の話し合いを経てその周知を図っている。</p>		

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>本人、担当職員や保護者の聞き取り、アセスメントを行った上で、個別支援計画書を策定している。半年に1度（場合によっては3ヶ月など）の再アセスメントを行い、個別支援計画に反映している。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>個別支援計画は定期的な見直しはもちろんのこと、利用者の身体状況の変化等必要に応じて、随時見直し、職員会議、ケース会議でその内容のチェックと共有を図っている。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>個別支援計画、アセスメントシート、ケース会議録、日々の支援記録等をファイリングするとともに、専用PCにフォルダを作成し、いつでも閲覧でき職員間で共有化している。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>個人情報保護規定が定められており、適切な管理が行われている。また、職員に対し、個人情報保護に関しての重要性やその取扱い等に定期的に研修を行い、その確認を行っている。</p>		

A-1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重		
A①	A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a・c
<p><コメント></p> <p>日々の支援から常に情報収集を行うとともに、ケース会議を通して利用者の意志を確認し、職員間で共有を図っている。個別支援会議では、利用者はもちろん保護者の希望も聞き、個別支援計画を作成している。支援の工夫が必要な利用者や医療的なケアが必要な利用者等、合理的な配慮をしている。</p>		
A-1-(2) 権利擁護		
A②	A-1-(2)-① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	a・c
<p><コメント></p> <p>「利用者権利擁護規程」を定め、職員確認の上、全員が誓約書を記入提出している。虐待防止委員会、アンケート、研修を定期的に実施する仕組み整備しており、職員に周知徹底を図っている。</p>		

A-2 生活支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 支援の基本		
A③	A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a・ <input type="checkbox"/> ・c
<p><コメント></p> <p>基本は見守りしているが、利用者の状況と意向や希望を取り入れ、ケース会議、個別支援会議を通して、利用者に必要な支援を実施している。</p>		
A④	A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a・ <input type="checkbox"/> ・c
<p><コメント></p> <p>利用者の状況に応じてのコミュニケーション方法を変え、日々の支援状況の観察や職員間の情報共有を図り、支援を行っている。</p>		
A⑤	A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a・ <input type="checkbox"/> ・c
<p><コメント></p> <p>日頃の支援を通じて、会話や態度を観察し利用者の意思を汲み取るよう心掛けている。その他、相談室や自室での個別相談対応による意見が言いやすい環境整備等、利用者の意思を尊重する配慮をしている。</p>		
A⑥	A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a・ <input type="checkbox"/> ・c
<p><コメント></p> <p>利用者の意向に基づいた日中活動やレクリエーションを実施している。その内容は利用者自ら選択できるようにするとともに、参加できない場合には、都度代替案を提示し利用者に提供している。最低年2回ケース会議を実施し、内容の検討と見直しを図っている。</p>		
A⑦	A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a・ <input type="checkbox"/> ・c
<p><コメント></p> <p>利用者の特性や障害については、上司、先輩から知識、対応、支援方法について適正な指導を受ける体制が整備されている。必要な外部研修に参加し、知識・技術習得をしている。</p>		
A-2-(2) 日常的生活支援		
A⑧	A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的生活支援を行っている。	<input type="checkbox"/> ・b・c
<p><コメント></p> <p>食事に関しては、年2回嗜好カルテにより意向確認を行い、献立会議を通じて提供している。その他、誕生日メニューの提供、利用者の状況に応じた食事量や刻み等の提供の工夫を行っている。</p>		
A-2-(3) 生活環境		

A⑨	A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a・ <input type="checkbox"/> ・c
<p><コメント></p> <p>居室状況、作業日誌を確認し、週1回清掃と年3回の大掃除、オゾン装置を使用し生活環境を清潔に保つ体制整備に努めている。居室や廊下等も基準より広く設計されており、ゆとりある空間で利用者が快適に生活できるよう工夫している。</p>		
A-2-(4) 機能訓練・生活訓練		
A⑩	A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a・ <input type="checkbox"/> ・c
<p><コメント></p> <p>毎週、筋力トレーニングやバランスボール体感トレーニングを実施した機能訓練を行っている。個々の能力に応じたプログラムで実施し、定期的に見直しを行うことにより、体力の維持・向上を図っている。</p>		
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援		
A⑪	A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	<input type="checkbox"/> ・b・c
<p><コメント></p> <p>身体測定、検温、嘱託医の往診を定期的実施し、利用者の健康管理に努めるとともに、個別に支援が必要な利用者には、適宜実施（排泄支援、入浴支援等）し、その情報については、個別支援記録、通院記録等を閲覧し共有を図っている。</p>		
A⑫	A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a・ <input type="checkbox"/> ・c
<p><コメント></p> <p>「服薬管理に係る支援方法」及び「医療的な支援」の手順を定め、また、緊急時には、嘱託医及び地域の医師・病院と迅速に医療的支援ができるよう連携されている。</p>		
A-2-(6) 社会参加、学習支援		
A⑬	A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a・ <input type="checkbox"/> ・c
<p><コメント></p> <p>県内で実施されている障害者スポーツ大会や障害者文化祭には、毎年参加しており、地域交流会等にも積極的に参加している。</p>		
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援		
A⑭	A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a・ <input type="checkbox"/> ・c
<p><コメント></p> <p>地域移行に関しては、利用者の希望や意向を尊重し情報提供を行いながら、その意思を確認している。同法人に併設しているグループホームも利用できる体制をとっている。</p>		
A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援		
A⑮	A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a・ <input type="checkbox"/> ・c

<コメント>

帰省や外出など家族との交流については、積極的に働きかけを行っている。しかし、家族の高齢化や療育困難を理由に、利用者本人の意向より家族からの連絡待ちという現状である。